

第10回総会、節目祝う

松平家当主長男あいさつ

みやぎ会津会



懇親会であいさつする須佐会長



父の保久氏の言葉を伝える親保さん

みやぎ会津会の第十回記念総会は二十八日、仙台市の仙台国際ホテルで開かれ、会員らが節目を祝った。

関係者約百三十人が出席した。総会後に開かれた懇親会で須佐尚康会長（東洋ワーク社長、金山町出身）が「仙台で活躍してきた先人に思いを寄せ、今後も元気に活動したい」とあいさつした。

会津松平家第十四代当主の松平保久（もりひさ）氏に代わり、長男親保（ちかもり）さんが「来年は戊辰（ほ

しん）百五十年の節目の年。次世代に会津魂を継承し、その思いを広くアピールしてほしい」とのメッセージを伝えた。

村井嘉浩宮城県知事、室井照平会津若松市長らもあいさつした。遠藤敬止顕彰会長の新城猪之吉末廣酒造社長も出席した。

出席者に手打ちそば振る舞う
会津山都協会

会場では会津山都そば協会（鈴木勝会長）

の会員が手打ちそばを振る舞った。

総会では檜枝岐歌舞伎を見学するふるさと訪問事業など平成二十九年度の事業計画を決めた。

福島民報社は本紙に掲載した記念特集を記念総会に合わせて出席者に配った。

福島民報社から花見政行取締役広告局長が出席した。